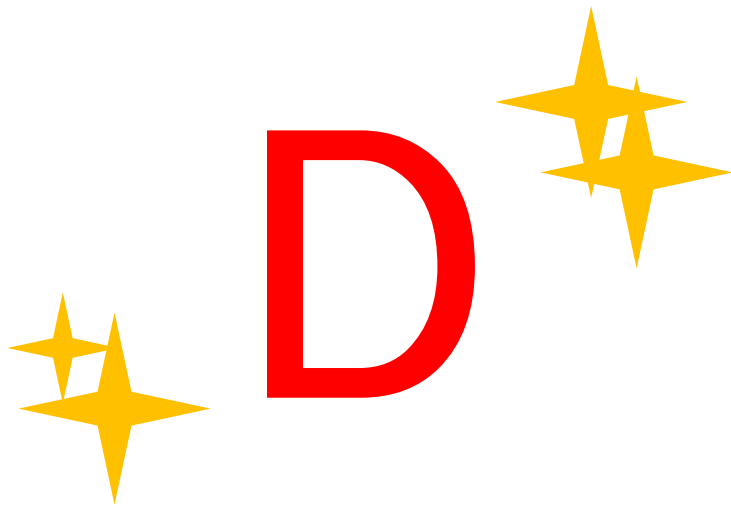


正解は



昔は野の草を風が強く吹き分ける意味として野分（のわき、のわけ）と呼んでいたようです。

枕草子や源氏物語にも登場します。

江戸時代には中国にならって颶風（ぐふう）と呼んだり、明治の初めにはタイフーン、大風（おおかせ）などと呼んでいたそうですよ。